



新機能と変更情報

この章は、次の内容で構成されています。

- [Cisco DCNM リリース 11.5\(3\) の新しい情報と変更された情報 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco DCNM リリース 11.5\(1\) の新しい情報と変更された情報 \(2 ページ\)](#)

Cisco DCNM リリース 11.5(3) の新しい情報と変更された情報

次の表は、この最新リリースに関するマニュアルでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、このリリースに関するガイドの変更点や新機能の中には、一部、この表に記載されていないものもあります。

表 1: Cisco DCNM リリース 11.5(3) の新しい動作と変更された動作

機能	説明	参照先
ThousandEyes Enterprise Agent	モニタ対象のネットワーク内でユーザーが特定のウェブサイトアクセスするとき、ThousandEyes Enterprise Agent はネットワークとアプリケーションレイヤのパフォーマンスデータを収集します。テストの実行、ネットワークパスと接続の詳細なアスペクトのチェック、ネットワークルーティングのステータスチェック、インテント、実行構成などの変更のモニタを行うために、データは使用されます。	<ul style="list-style-type: none">• ThousandEyes Enterprise Agent• ThousandEyes Enterprise エージェントアクションの実行

Cisco DCNM リリース 11.5(1) の新しい情報と変更された情報

次の表は、この最新リリースに関するマニュアルでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、このリリースに関するガイドの変更点や新機能の中には、一部、この表に記載されていないものもあります。

表 2: Cisco DCNM リリース 11.5(1) の新しい動作および変更された動作

機能	説明	参照先
単一スイッチ構成の復元	Cisco DCNM Web UI から外部ファブリックおよび LAN クラシック ファブリックの Cisco Nexus スイッチの構成を復元できます。スイッチレベルで復元する情報は、ファブリックレベルのバックアップから抽出されます。スイッチレベルの復元では、ファブリックレベルのインテントおよびファブリック設定を使用して適用されたその他の構成は復元されません。スイッチレベルのインテントのみが復元されます。	スイッチの復元
EPLD ゴールデンアップグレード	Cisco DCNM リリース 11.5(1) 以降、DCNM は EPLD ゴールデンアップグレードもサポートします。EPLD アップグレードを実行するときに、Nexus 9000 シリーズ スイッチのゴールデンリージョンまたはプライマリリージョンを選択するオプションがあります。[イベント (Events)] ウィンドウで EPLD ゴールデンアップグレード通知を表示できます。Cisco DCNM Web UI のホームページから、[モニター (Monitor)] > [スイッチ (Switch)] > [イベント (Events)] を選択します。	EPLD インストール

PTP モニタリングアプリケーション	高精度時間プロトコル (PTP) はネットワークに分散したノードの時刻同期プロトコルです。ローカルエリアネットワークでは、サブマイクロ秒範囲のクロック精度を実現するため、測定および制御システムに適しています。DCNM では、PTP モニタリングをアプリケーションとしてインストールできます。以前はメディアコントローラの展開にインストールできたこの PTP モニタリングアプリケーションを、プレビュー機能として LAN ファブリックの展開にインストールできるようになりました。この機能を実稼働環境で展開することは推奨されていません。	PTP Monitoring
ブラウフィールド展開のための簡素化された CLI 構成のサポート	DCNM のブラウフィールドインポートは、簡素化された NX-OS VXLAN EVPN 構成 CLI をサポートします。	ガイドラインと制約事項
CloudSec の操作表示	MSD ファブリックで CloudSec が有効になっている場合、DCNM の [CloudSec 操作表示 (CloudSec Operational View)] を使用して CloudSec セッションの操作ステータスを確認できます。	CloudSec の動作状態の表示
アウトオブバンドスイッチインターフェイス構成と DCNM の同期	[host_port_resync] ポリシーを使用して、アウトオブバンドスイッチインターフェイスレベルの構成を (CLI 経由で) Cisco DCNM と同期させ、その後管理することができます。また、vPC ペア構成は自動的に検出され、ペアリングされます。	アウトオブバンドスイッチインターフェイス構成と DCNM の同期
Easy ファブリックおよび eBGP ファブリックでの MACsec サポート	MACsec は、ファブリック内リンクの Easy Fabric および eBGP ファブリックでサポートされます。MACsec を構成するには、ファブリックおよび必要な各ファブリック内リンクで MACsec を有効にする必要があります。これは、Cisco DCNM リリース 11.5(1) のプレビュー機能です。	Easy ファブリックおよび eBGP ファブリックでの MACsec サポート

インターフェイスグループ	ファブリックレベルでホスト側のインターフェイスをグループ化できるインターフェイスグループを作成できます。具体的には、物理イーサネット インターフェイス、L2 ポートチャネル、および vPC のインターフェイスグループを作成できます。インターフェイスグループのインターフェイスに複数のオーバーレイネットワークを接続または接続解除できます。	インターフェイスグループ
L4～7 サービス拡張	<p>DCNM リリース 11.5(1) では、次の拡張機能が導入されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • トップダウン設定で定義されていない任意のネットワークを、サービス ポリシーの送信元または宛先ネットワークとして指定できます。これは、南北トラフィックのポリシー適用の合理化に役立ちます。 • レイヤ 4～レイヤ 7 サービスは、静的ルートで参照されている VRF がアタッチされているすべての VTEP（サービスリーフスイッチを含む）に静的ルートをプッシュします。これにより、スタティックルートによるサービス ノードのフェールオーバーが促進されます。 • ワンアーム仮想ネットワーク機能がサポートされています。 • レイヤ 4～レイヤ 7 サービス REST API は、DCNM パッケージの REST API ドキュメントを介してアクセスできます。 • ルートピアリングの一括アタッチ、データタッチ、プレビュー、および展開と、サービスポリシーがサポートされていますが、最大 10 のルートピアリングまたは 10 のサービスポリシーまでに制限されています。 • [監査履歴 (Audit History)]機能は、サービスノード、ルートピアリング、およびサービスポリシーに加えられた変更のログを表示します。 	レイヤ 4～レイヤ 7 サービス

<p>OpenStack ワークロードの可視性</p>	<p>OpenStack クラスタをモニタするのに役立つ OpenStack プラグインアプリケーションが DCNM によって提供されます。物理ネットワーク接続と仮想化されたワークロードに関する可視性を得て、データセンターのコンテキスト内で VM ネットワーキング固有の問題をデバッグできます。これは、Cisco DCNM リリース 11.5(1) のプレビュー機能です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • OpenStack ビジュアライザ • OpenStack ワークロードの可視性
<p>ファブリックのポーターでの L3 ゲートウェイのサポート</p>	<p>Cisco DCNM リリース 11.5(1) 以降、[ポーターで L3 ゲートウェイを有効にする (Enable L3 Gateway on Border)] フィールドは、MSD ネットワーク設定の一部として使用できません。ポーター スイッチのレイヤ 3 ゲートウェイをファブリック レベルで有効にすることができます。</p>	<p>VXLAN BGP EVPN ファブリックのマルチ サイト ドメイン</p>
<p>定期レポート生成の頻度</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 定期的な NVE VNI カウンタ レポートを作成する場合は、レポート生成の間隔を 60 分以上に設定する必要があります。間隔が 60 分未満の場合は、エラーメッセージが表示されます。 • レポートの生成中に generateReport メソッドが呼び出されます。レポートにはレポート導入ロジックが含まれます。このメソッドは、任意のコンテキスト オブジェクトを受け入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> • レポートジョブの作成 • テンプレート機能のレポート
<p>デバイスの事前プロビジョニング</p>	<p>Cisco DCNM リリース 11.5(1) 以降、事前プロビジョニングされたデバイスへの構成サポートが拡張されました。</p>	<p>デバイスの事前プロ ビジョニング</p>
<p>拡張されたロールベースのアクセス制御</p>	<p>新しいユーザー ロール、[device-upg-admin]、および [access-admin] が追加されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [device-upg-admin] ロールを持つユーザーは、[イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウでのみ操作を実行できます。 • [access-admin] ロールを持つユーザーは、すべてのファブリックの[インターフェイス マネージャ (Interface Manager)] ウィンドウでのみ操作を実行できます。 	<ul style="list-style-type: none"> • 拡張されたロールベースのアクセス制御 • インターフェイス

スイッチスマートライセンス	Cisco DCNM リリース 11.5(1) 以降、新しいライセンスタイプがスイッチに追加されました。	スイッチスマートライセンス
外部ファブリックおよび LAN クラシック ファブリックでのインバンド管理	Cisco DCNM では、ブラウンフィールド展開でのみ、外部および LAN クラシック ファブリックのインバンド接続のスイッチをインポートまたは検出できます。ファブリック設定を構成または編集しながら、ファブリックごとにインバンド管理を有効にします。POAP を使用してインバンド接続のスイッチをインポートまたは検出することはできません。	外部ファブリックおよび LAN クラシック ファブリックでのインバンド管理
外部ファブリックまたは LAN クラシック ファブリック向け高精度時間プロトコル (PTP)	リリース 11.5(1) から、 [External_Fabric_11_1] または [LAN_Classic] テンプレートのファブリック設定で、 [高精度時間プロトコル (PTP) を有効化 (Enable Precision Time Protocol (PTP)] チェックボックスをオンにして、ファブリック全体で PTP を有効にします。	外部ファブリックおよび LAN クラシック ファブリック向け高精度時間プロトコル (PTP)
GUI から DNS、NTP サーバーを編集する機能	Cisco DCNM では、Web UI からいくつかのネットワーク パラメータを変更できます。これらを変更すると、以前に構成されたパラメータが上書きされます。	ネットワーク基本設定

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。